



AQU 先端テクノロジー総研 《ニュースリリース》 2011/4/4

報道関係者各位  
プレスリリース  
2011年4月4日

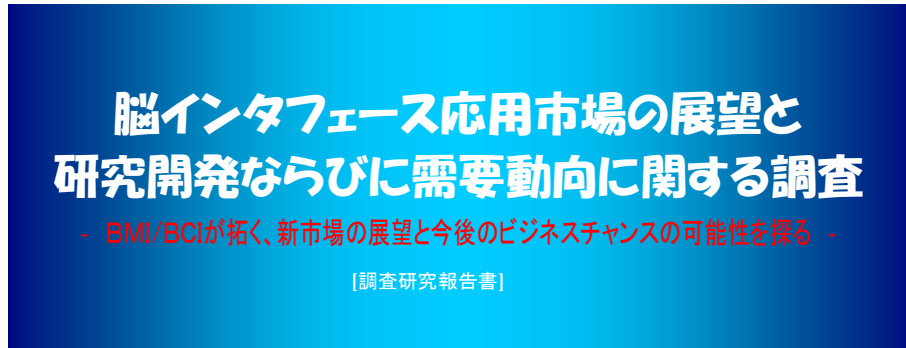
お世話になっております。  
AQU 先端テクノロジー総研と申します。  
ニュースリリースをお送りしますので、よろしく願いいたします。

**夢が広がるテクノロジー、脳インタフェースシステムの可能性を調査、AQU 先端テクノロジー**

『脳インタフェース応用市場の展望と研究開発ならびに需要動向に関する調査  
- BMI/BCIが拓く、新市場の展望と今後のビジネスチャンスの可能性を探る -』

<http://www.aqu.com/bmi-bci-research/>  
<http://www.aqu.com/aqu-news/2011-4-4.pdf>  
<http://www.aqu.com/bmi-bci-research/sample-1.pdf>  
<http://www.aqu.com/bmi-bci-research/bmi-bci-business.pdf>  
<http://www.aqu.com/>

調査概要 HP  
ニュースリリース  
内容サンプル  
特別ビジネス情報  
メインページ



★ このたび、先端ビジネス市場の調査コンサルティング会社である、AQU 先端テクノロジー総研（AQUARIUS 最先端研究所）（千葉市中央区、代表、子安克昌）は、調査報告書『脳インタフェース応用市場の展望と研究開発ならびに需要動向に関する調査 - BMI/BCIが拓く、新市場の展望と今後のビジネスチャンスの可能性を探る -』を発売いたしました。

同社では、日本再生へ向けて、夢が広がるテクノロジーの活用が大切であるとし、そのひとつとして、脳科学応用の基盤技術であるブレイン・マシン・インタフェース（BMI）の今後の可能性を調査いたしました。この BMI については、2300人にアンケート調査を実施したところ、介護、福祉、医療を中心に、大きな期待が向けられている、夢が広がるテクノロジーであることが分かりました。回答者の意見としても、「障害を持った方々の助けになれば、素晴らしいと思うし、それ以外にも多数の用途が有り得、夢が広がるテクノロジーと思う。」といった感想が多数寄せられました。

欧米においては、重度の運動障害者の意思伝達において、侵襲的計測技術の研究開発が比較的重視されてきましたが、近年、日本の研究機関、研究者においては、非侵襲計測技術関係において次々と、重要な研究成果が出てきており、世界をリードする状

況となっています。今後、こうした非侵襲計測技術などが脳科学ビジネスを牽引してゆく可能性が高いと思われます。

最近の注目すべき動向としては、重度障がい者向けの意思伝達システムの製品化、ゲーム応用、BCIツイッター、BCI開発キットによるアプリ開発、リハビリ応用、車イス応用、遠隔ロボット操作、3D仮想世界応用、マーケティング、トレーニング、家電・PC操作など広い範囲で動きが活発化しています。また将来的には、感性情報システム、脳ライフログ、脳ICTといったものにつながってゆくと考えられます。

市場予測では、一般向けの脳インタフェースシステム(BMI、BCI)について、情報入力型、リアルタイム通信型、支援システム・その他として予測を行いました。その結果、10年後の2021年には、日本市場、865億円、世界市場、4825億円と予測されました。その後もさらなる拡大、発展が続き、2025年には、世界市場で1兆円を突破するとみています。

脳インタフェースシステムは、技術発展、ビジネスの可能性があるだけでなく、社会貢献、未来社会を真に変革してゆくコミュニケーションプラットフォーム、さらには未来文化創造にも大きく貢献してゆく可能性を秘めていると考えています。

---

## 関連情報

---

### はじめに

※ あらためまして、このたびの東日本大震災(東北地方太平洋沖地震)で被災されました皆様、また関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げます。また、地震に続く福島第一原子力発電所の事故、その影響を受けられた皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、日本の再生へ向けて、今こそ**最先端テクノロジー**の叡智を結集して、取り組んでまいりたいものです。夢が広がるテクノロジーこそ、未来を創造してゆくに違いありません。

弊社では、脳科学応用の基盤技術であるブレイン・マシン・インタフェース(BMI)について、2300人にアンケート調査を実施したところ、BMIは介護、福祉、医療を中心に、大きな期待が向けられている、夢が広がるテクノロジーであることが分かりました。回答者の意見としても、「障害を持った方々の助けになれば、素晴らしいと思うし、それ以外にも多数の用途が有り得、夢が広がるテクノロジーと思う。」といった感想が多数寄せられました。

当調査では、脳科学応用分野である、この**脳インタフェースシステム(BMI、BCI)に着目して、今後のビジネス戦略の可能性を調査し、その将来展望、需要動向、研究開発動向、ならびに世界と日本の市場展望の全体像をとらえました。**

欧米においては、重度の運動障害者の意思伝達において、侵襲的計測技術の研究開発が比較的重視されてきましたが、近年、日本の研究機関、研究者においては、非侵襲計測技術関係において次々と、重要な研究成果が出てきており、世界をリードする状況となっています。今後、こうした非侵襲計測技術などが脳科学ビジネスを牽引してゆく可能性が高いと思われます。

最近の注目すべき動向としましては、重度障がい者向けの意思伝達システムの製品化、ゲーム応用、BCIツイッター、BCI開発キットによるアプリ開発、リハビリ応用、車イス応用、遠隔ロボット操作、3D仮想世界応用、マーケティング、トレーニング、家電・PC操作など広い範囲で動きが活発化しています。また将来的には、感性情報システム、脳ライフログ、脳ICTといったものにつながってゆくと考えられます。

市場予測では、一般向けの脳インタフェースシステム(BMI、BCI)について、情報入

力型、リアルタイム通信型、支援システム・その他として予測を行いました。その結果、10年後の2021年には、日本市場、865億円、世界市場、4825億円と予測されました。その後もさらなる拡大、発展が続き、**2025年には、世界市場で1兆円を突破すると**みえています。

脳インタフェースシステムは、技術発展、ビジネスの可能性があるだけでなく、**社会貢献、未来社会を真に変革してゆくコミュニケーションプラットフォーム、さらには未来文化創造にも大きく貢献してゆく可能性**があるといえましょう。

当調査は、脳の情報インタフェースである **BMI、BCI** に着目し、これらの研究開発動向、需要動向、ならびに今後の市場展望を調査したものです。当調査が皆様のビジネス開発、研究開発、製品サービス開発に少しでも寄与できましたら幸いです。

AQU先端テクノロジー総研

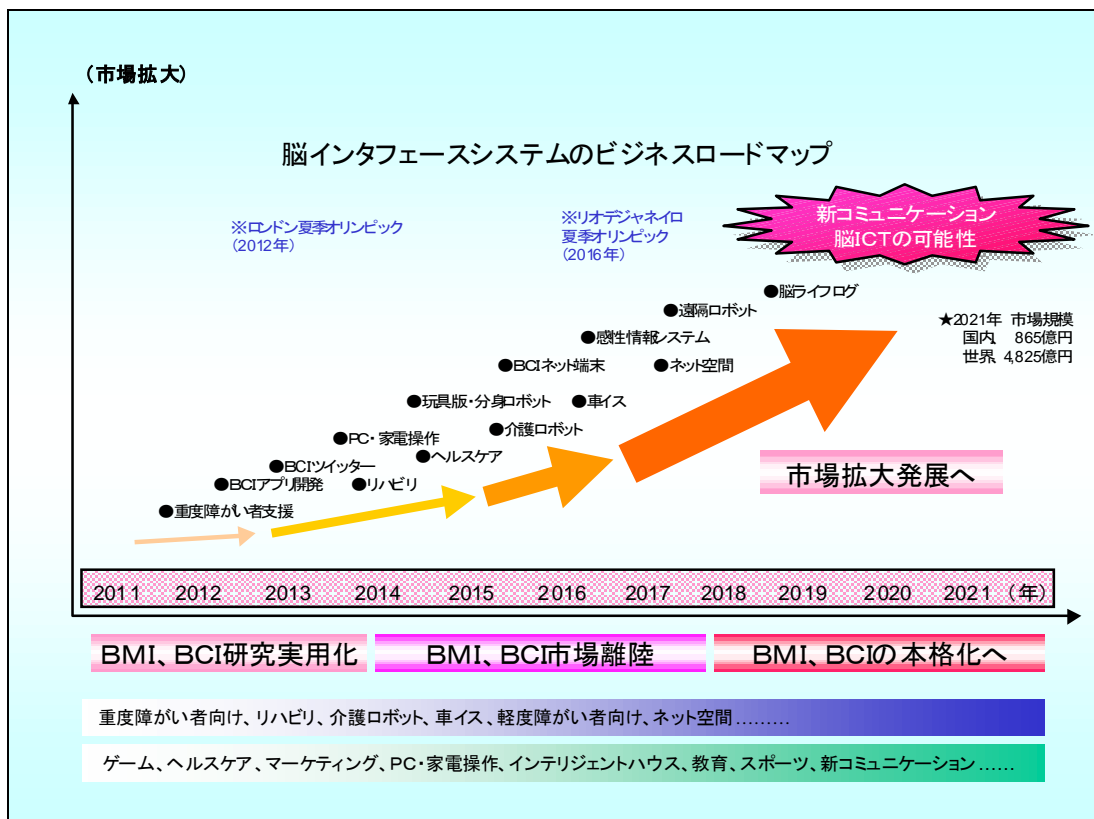
【調査概要】

■ 調査テーマ

**脳インタフェース応用市場の展望と研究開発並びに需要動向に関する調査**  
 - BMI/BCIが拓く、新市場の展望と今後のビジネスチャンスの可能性を探る -  
**【調査報告書】**

【調査ポイントの一例】

▼新市場創造、脳インタフェースシステムのビジネスロードマップ



## 【脳インタフェースシステム製品】

機器サービス	用途例
情報入力型	重度障害者向け、ゲーム、ツイッター、PC・家電操作、その他
リアルタイム通信型	リハビリ、介護ロボット、車いす、新世代BMIネットワーク、その他
支援システムサービス、その他	マーケティング、3D仮想世界利用、トレーニング、教育、アプリ、感性情報システム、データベース、同時計測システム、脳ライフログ、その他

▼2025年には、世界市場で1兆円を突破へ

- 調査スケジュール
- 調査担当

2011年1月20日～2011年3月31日



Marketing & Consulting for the mission  
 株式会社AQU先端テクノロジー総研  
 AQU Technology Research Institute, Inc.  
 脳インタフェース応用市場調査プロジェクト  
<http://www.aqu.com/bmi-bci-research/Info@aqu.com>

## ◆ レポート体裁

プリント製本 A4 版、PDF ファイル 286 頁  
 ISBN 978-4-904660-16-4

## ◆ 価格

セット定価 ¥199,500.- (本体 ¥190,000.-、消費税 ¥9,500.-)

- |  |                 |                |
|--|-----------------|----------------|
| <input type="checkbox"/> 報告書製本版 + CD (PDF 電子データ) | ¥190,000.- (本体) | ¥9,500.- (消費税) |
| <input type="checkbox"/> 報告書製本版 のみ               | ¥95,000.- (本体)  | ¥4,750.- (消費税) |
| <input type="checkbox"/> CD (PDF 電子データ) のみ       | ¥180,000.- (本体) | ¥9,000.- (消費税) |

(報告書は全ページカラー出力)

## ◆ 2011年4月発刊

◆ 調査編集発行 株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

※その他の関連調査報告書

## 【特別調査報告書】

## ◆ タイトル

『アンビエント情報環境における製品サービスの市場動向と市場戦略  
 -アンビエント・システム、アンビエント・デバイス等の開発動向とビジネス戦略-』  
<http://www.aqu.com/ambient-research/> (専用ホームページ)

## ◆ タイトル

『新世代ネット端末、新ネットサービスの市場動向と市場戦略に関する調査  
 -Android搭載機器、新ネットサービスの市場展望と予測、ビジネス戦略-』  
<http://www.aqu.com/new-generation/> (専用ホームページ)

## ◆ タイトル

『新プラットフォームにおけるビジネス市場展望と今後のモバイル戦略  
 -スマートフォン関連の市場動向とビジネス新潮流、ビジネスチャンス-』

<http://www.aqu.com/new-platform/> (専用ホームページ)

◆タイトル

「あるべき未来からの発想、『先端ビジネス市場の未来戦略』  
-感動価値創造製品の構想と市場展望-

<http://www.aqu.com/mirai-business-strategy/> (専用ホームページ)

※お問い合わせ連絡先

\*\*\*\*\*

株式会社 AQU 先端テクノロジー総研

<http://www.aqu.com/>

〒260-0027 千葉市中央区新田町 36-15

千葉テックビル 6F FLPC

TEL 043-204-1258

FAX 043-204-1316

子安、那須

[info@aqu.com](mailto:info@aqu.com)

\*\*\*\*\*